

加古川市上下水道事業運営審議会資料 (水道事業)

加古川市上下水道局



1 -1 決算の概要

有収水量は一般家庭が
317,621m³減少



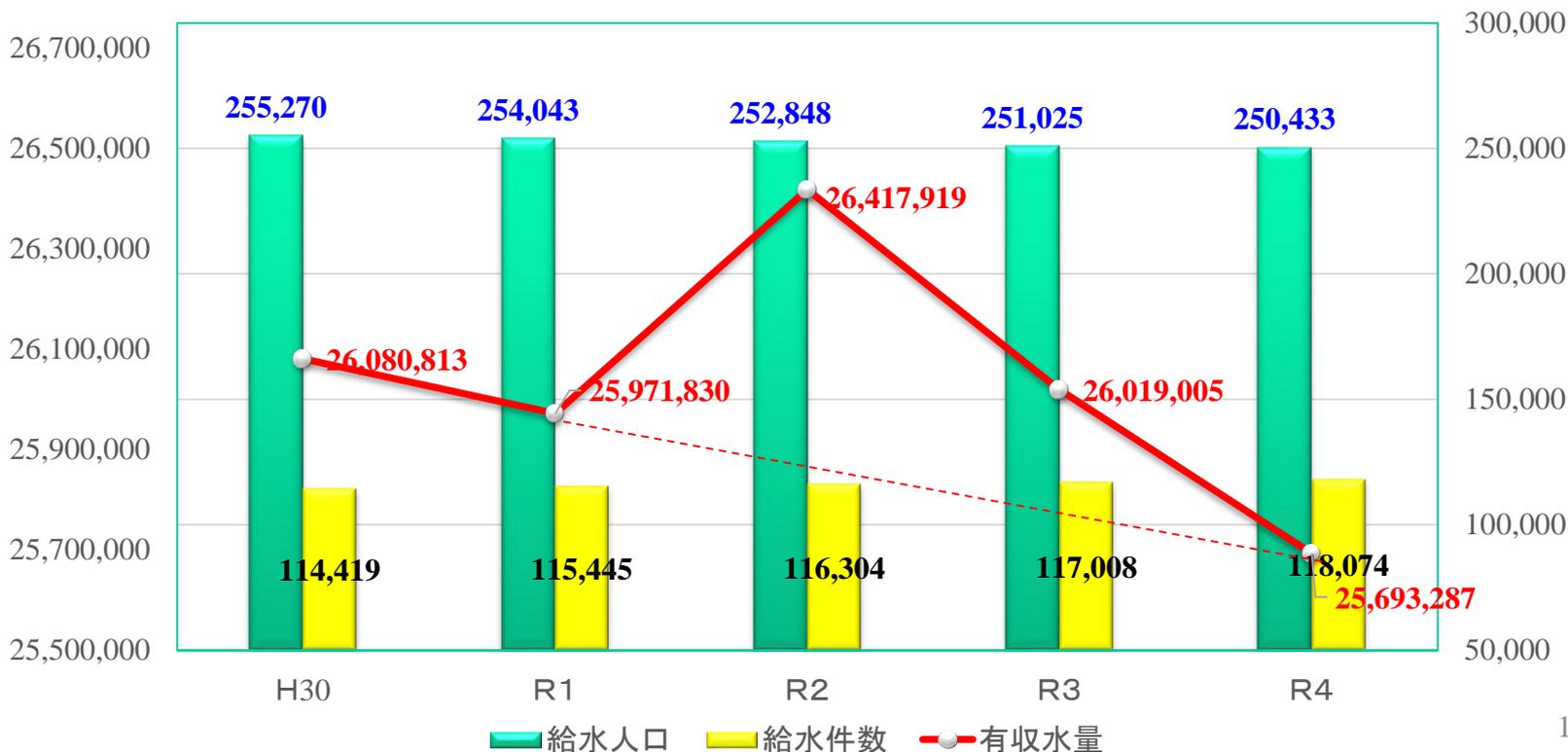
● 主要統計情報※()内は前年度

・給水人口	： 250,433 人	(251,025人)	△ 592人	[△0.2%]
・給水件数	： 118,074 件	(117,008件)	+1,066件	[+0.9%]
・有収水量	： 25,693,287 m ³	(26,019,005m ³)	△325,718m ³	[△1.3%]

主要統計情報

(単位:m³)

(単位:人、件)



1 -2 決算の概要

令和2年度
 料金減免 6.8億円
 受水費減免 3.2億円

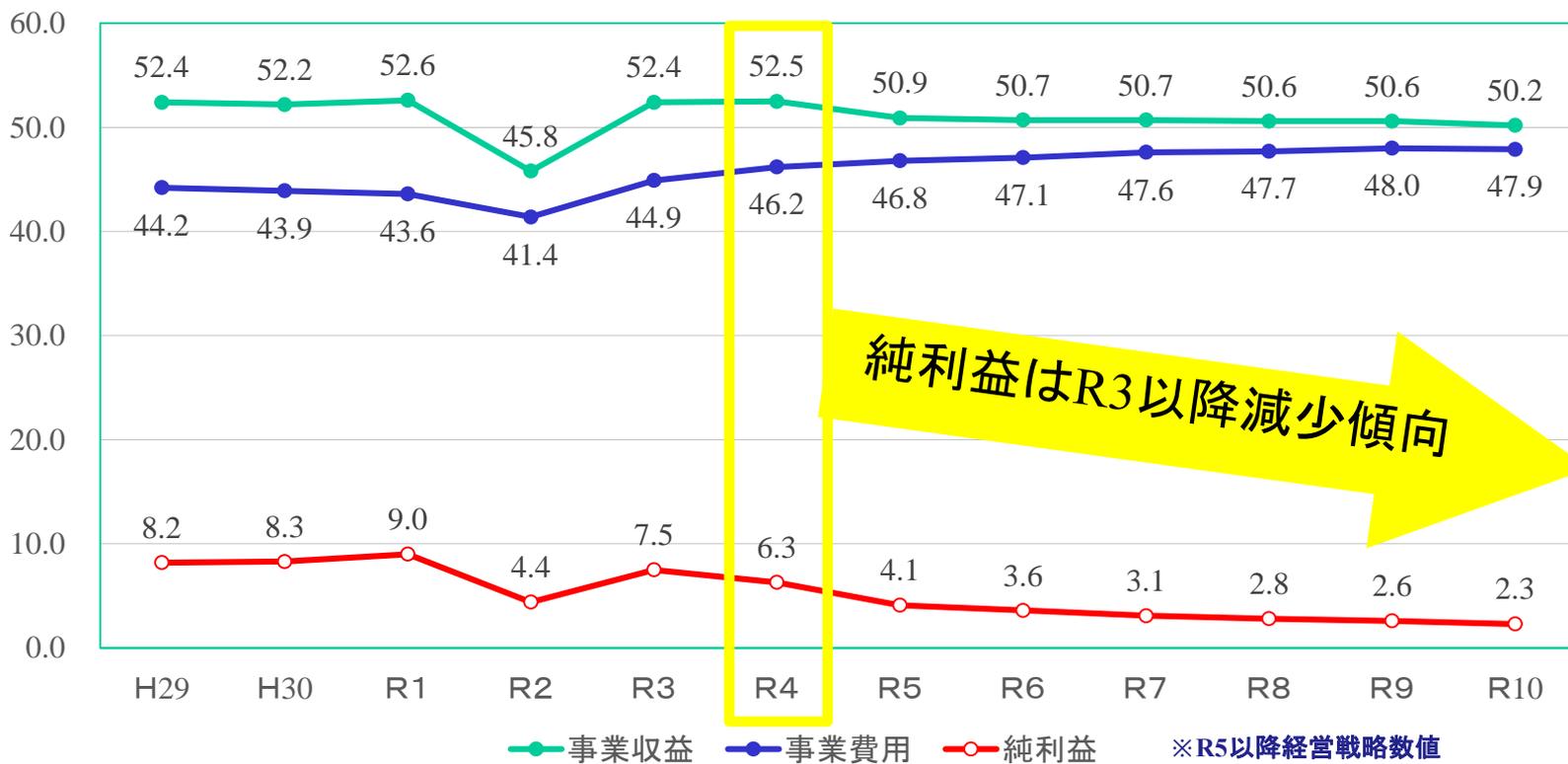
● 水道事業会計※()内は前年度

- ・事業収益 : **52億4,565万円** (52億3,753万円) + 812万円
- ・事業費用 : **46億1,936万円** (44億8,659万円) + 1億3,277万円
- ・純利益 : **6億2,629万円** (7億5,094万円) △1億2,465万円



(単位: 億円)

事業収益、事業費用、純利益の推移



2 事業収益

●事業収益総額 52億4,565万円(前年度比 +0.2%)

【主な増要因】

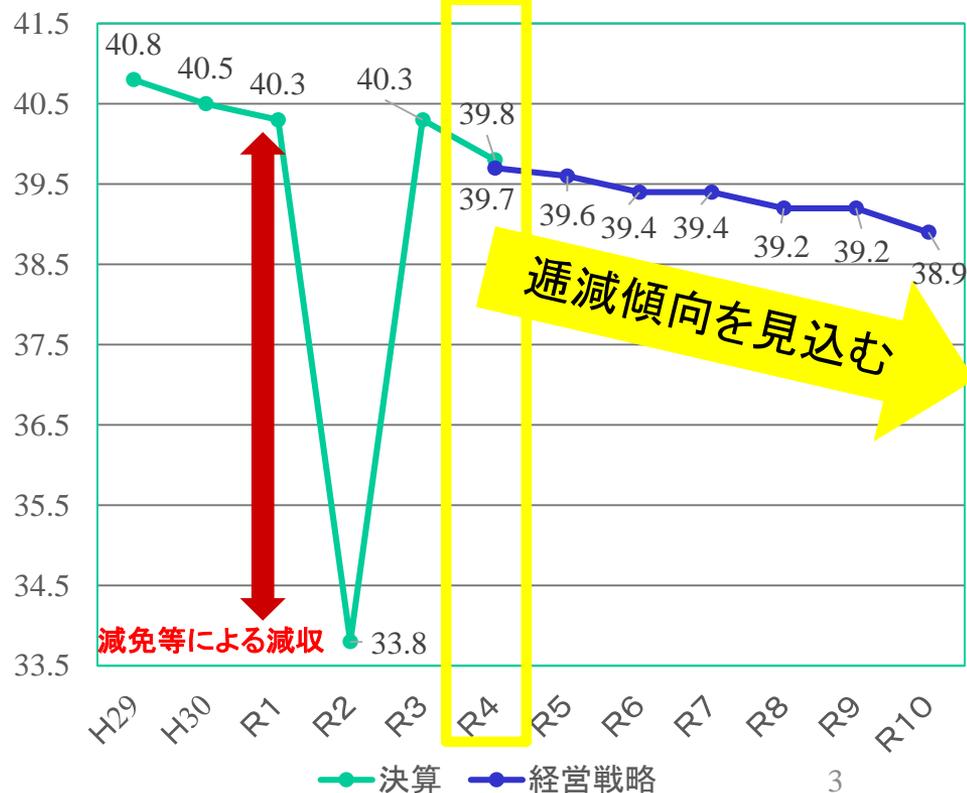
○給水収益: 令和2年度に実施した**水道料金の基本料金の減免**(新型コロナウイルス感染症に関連する減免)に対し、令和3年度には減免を実施しなかったこともあり令和元年度並みに戻りました。しかしながら、給水人口の減少や節水機器等の普及により、水需要の縮小傾向に変化は見られず、令和4年度においては前年度と比べ**約0.5億円減少の約39.8億円となりました。**

(単位:百万円)

		4年度	3年度	増減
事業収益		5,246	5,238	8
営業収益		4,703	4,730	△ 27
	給水収益	3,978	4,027	△ 49
	受託工事益	2	1	1
	その他の収益	723	702	21
営業外益		536	507	29
	受取利息及び配当金	2	5	△ 3
	雑収益	274	242	32
	他会社計金負担	2	3	△ 1
	長期前受金戻入益	258	257	1
特別利益		7	0	7
	過年度損益修正益	7	-	7

(単位:億円)

給水収益の推移



3 事業費用

●事業費用総額 46億1,936万円(前年度比 +3.0%)

【主な増要因】

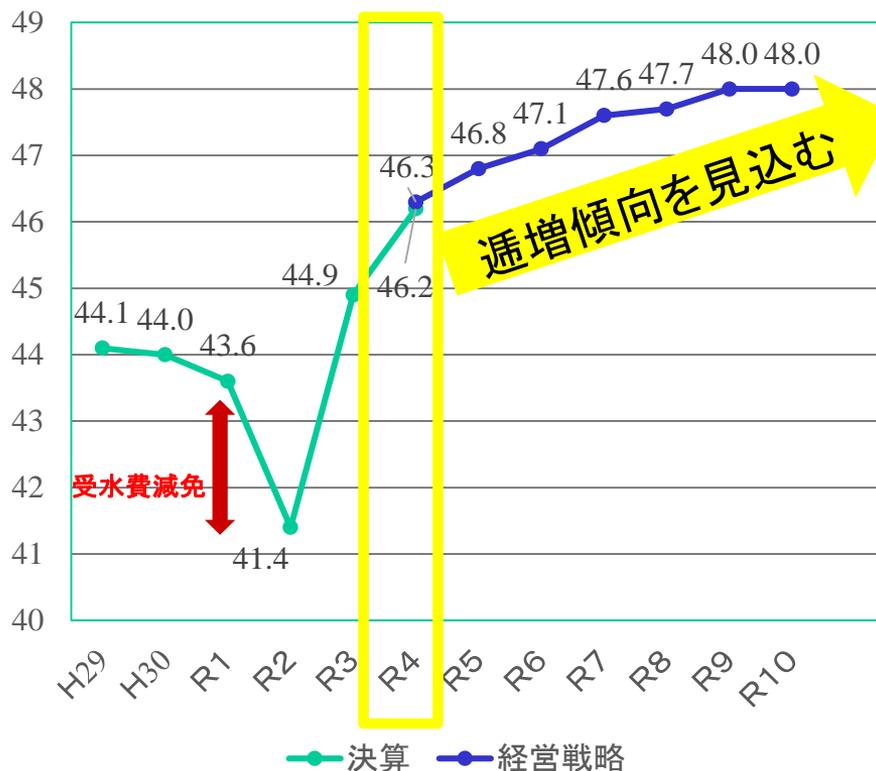
○原水及び浄水費: 令和4年度はエネルギー価格高騰による動力費の増加もあり、前年度と比べ約0.6億円増加し、約19.9億円となりました。

(単位:百万円)

		4年度	3年度	増減
事業費用		4,619	4,486	132
営業費用		4,468	4,328	140
	原水及び浄水費	1,985	1,924	61
	配水費	265	284	△19
	給水費	124	111	13
	受託工事費	2	2	0
	業務費	256	254	2
	総係費	186	177	9
	減価償却費	1,626	1,536	90
	資産減耗費	24	40	△16
営業外費用		150	157	△7
	支払利息	148	156	△8
	雑支出	2	1	1
特別損失		1	1	0
	過年度損益修正損	1	1	0

(単位:億円)

事業費用の推移



4 資本的収支

●資本的収入 9億 92万円(前年度12億2,303万円) △3億2,211万円[△26.4%]

【主な増減要因】

○企業債 : 起債対象事業費の減による減少(△1億9,250万円)

●資本的支出 30億7,932万円(前年度34億9,172万円) △4億1,240万円[△11.8%]

【主な増減要因】

○建設改良費 : 原浄水施設費の減による減少(△2億9,446万円)

(参考)主な事業費

【R4】 中西条浄水場高架水槽更新工事(約4.0億円)

【R3】 中西条浄水場2次濃縮槽耐震補強等更新工事(約3.6億円)

中西条浄水場高架水槽更新工事(約3.2億円)

<企業債>

【概要】

公営企業の資金を調達するため発行されるもので、その元利償還金は主として当該企業の料金収入等から支払われる。水道事業については、上水道及び簡易水道に係る建設改良費等並びに用途廃止施設の処分に要する経費を対象とするもの。

【充当率】100%(上限)

加古川市水道事業においては、将来の償還利子負担を軽減することや世代間の負担の公平性(一人あたり企業債残高を現役世代なりに抑えること)を目的として、令和2年度より充当率を50%に設定している。(以前は70%)

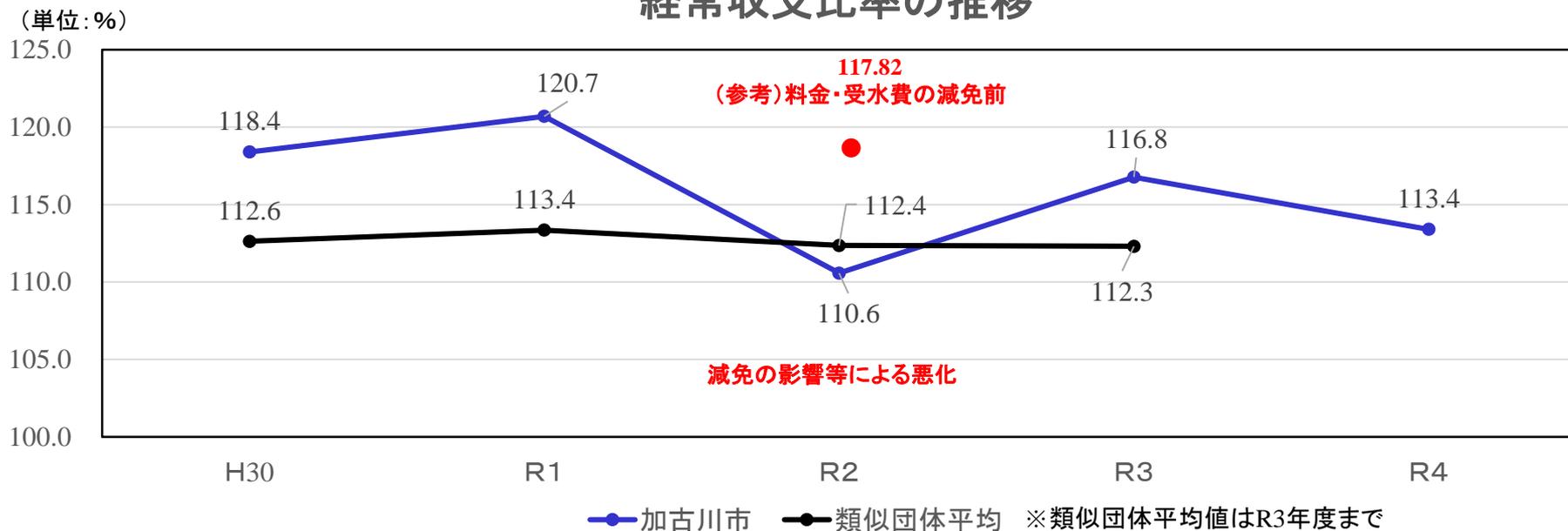
5 -1 主な経営指標

経常収支比率 **113.4** (R3類似団体平均:112.3)

【算式】 経常収益／経常費用

- 当該年度において、給水収益や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。単年度の収支が黒字であることを示す **100%以上となっていることが望ましい**。
- 営業費用の増加に伴い、前年度と比べ、**3.4ポイント悪化**した。

経常収支比率の推移



5-2 主な経営指標

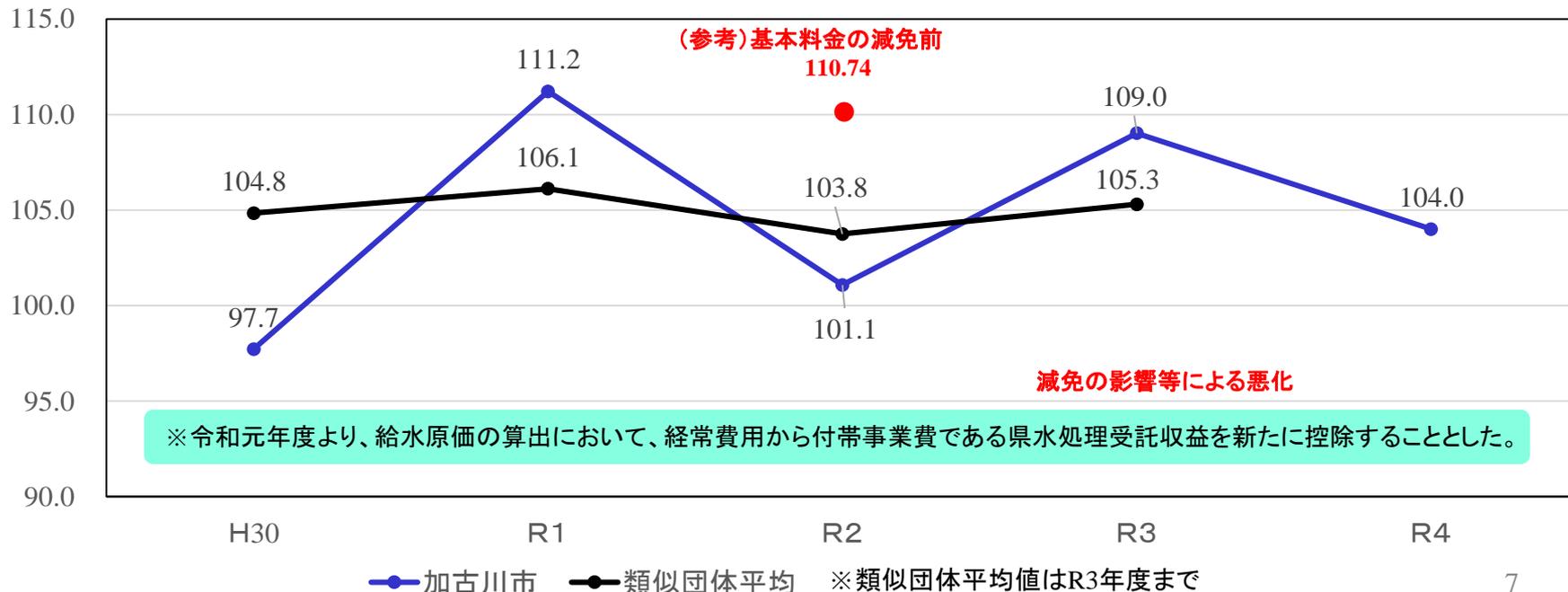
料金回収率 **104.0** (R3類似団体平均:105.3)

【算式】 供給単価／給水原価

- **料金回収率が100%を下回っている場合、給水に係る費用が給水収益以外の収入で賄われていることを意味する。** 数値が低く、繰出基準に定める事由以外の繰出金によって収入不足を補填しているような事業体にあっては、適切な料金収入の確保が求められる。
- 給水原価の増に伴い、前年度と比べ、**5.0ポイント悪化**した。

(単位: %)

料金回収率の推移



5-3 主な経営指標

供給単価 **154.83円/m³**

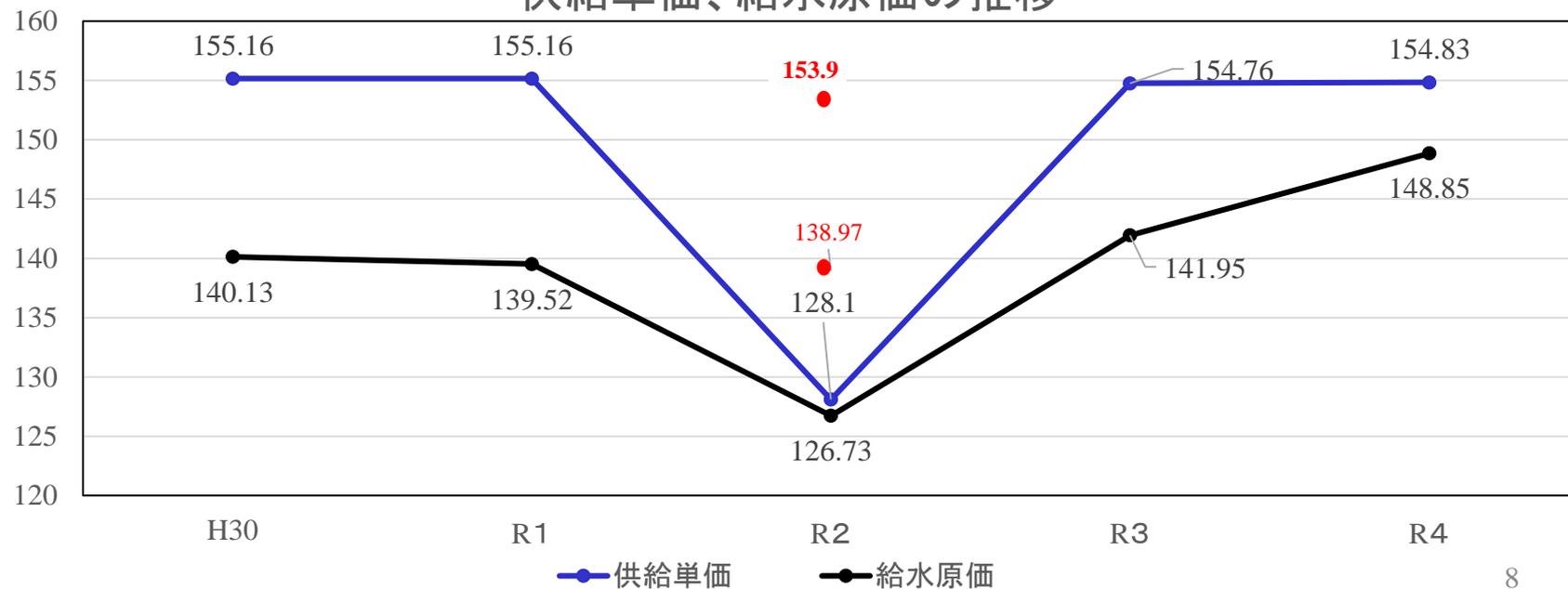
$$= \frac{\text{給水収益 } 3,978,006,419\text{円}}{\text{有収水量 } 25,693,287\text{m}^3}$$

給水原価 **148.85円/m³**

$$= \frac{\text{経常費用 } 4,619,026,843\text{円} - \text{受託工事費 } 1,791,404\text{円} - \text{長期前受金戻入益 } 258,411,666\text{円} - \text{県水処理受託収益 } 534,310,278\text{円}}{\text{有収水量 } 25,693,287\text{m}^3}$$

(単位:円/m³)

供給単価、給水原価の推移



5 -4 主な経営指標

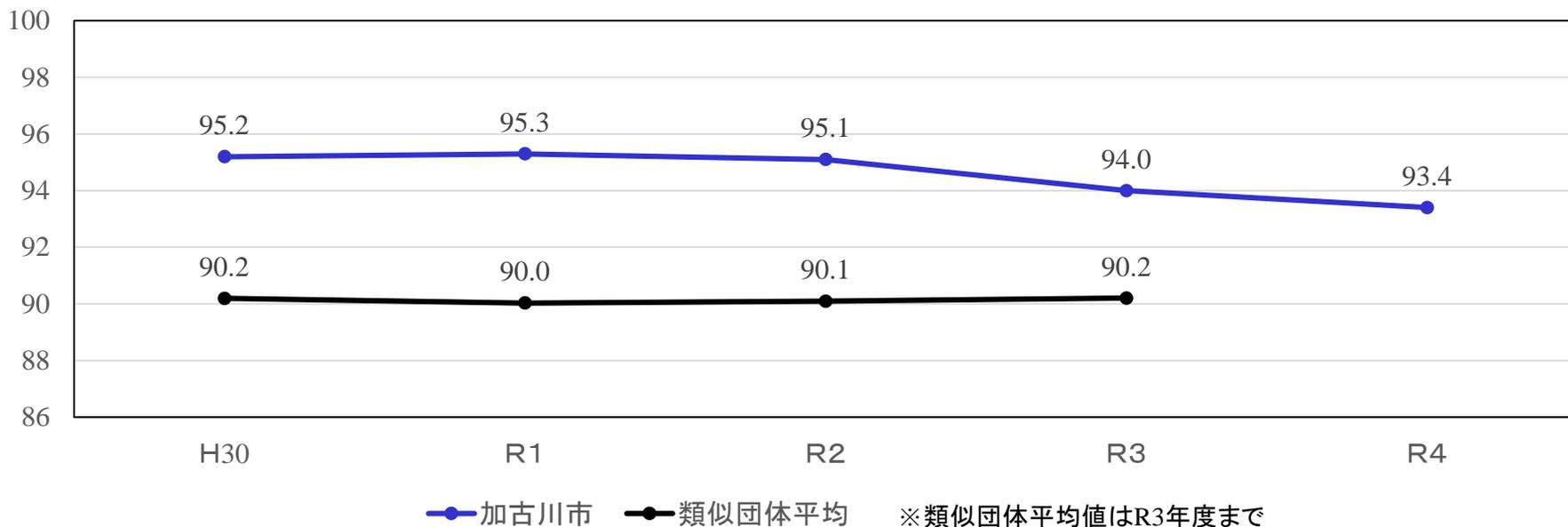
有収率 93.4 (R3類似団体平均:90.2)

【算式】 年間有収水量／年間給水水量

- 100%に近ければ近いほど施設の稼働状況が収益に反映されていると言える。数値が低い場合は、水道施設や給水装置を通して給水される水量が収益に結びついていないため、漏水やメーター不感等といった原因を特定し、その対策を講じる必要がある。
- 前年度と比べ、**0.6ポイント悪化**した。

有収率の推移

(単位: %)



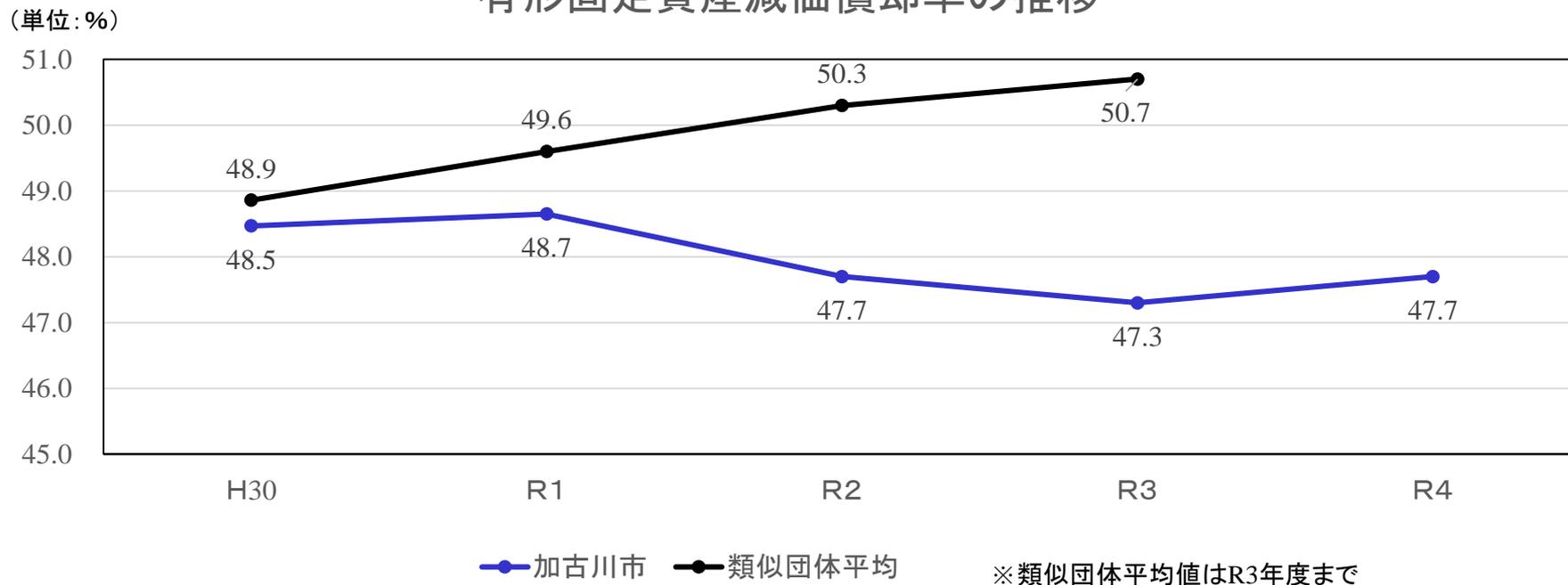
5-5 主な経営指標

有形固定資産減価償却率 **47.7** (R3類似団体平均:50.7)

【算式】有形固定資産減価償却累計額／有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価

- 数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示しており、将来の施設の更新等の必要性を推測することができる。
- 減価償却が進んだことにより、前年度と比べ、**0.4ポイント増加**した。

有形固定資産減価償却率の推移



5 -6 企業債及び積立金残高

企業債残高 約 127.2億円

当年度償還高(約7.9億円)を当年度発行額(約7.8億円)が下回ったため、前年度と比べ、約0.1億円減少した。

<主な起債対象事業>

- ・福留配水池耐震化更新工事(No.1配水池)
- ・中西条浄水場高架水槽更新工事
- ・老朽管更新工事

積立金残高 約 26.2億円

4条収支の不足額(資本的収入額が資本的支出額に不足する額)に対し、建設改良積立金6.5億円を補てんしたため、前年度と比べ、約0.2億円減少した。

<建設改良積立金残高>

R3年度決算認定後残高	2,638,189,069円
R4年度補てん額	△ 650,000,000円
R4年度積立額(純利益)	626,289,971円
<hr/>	
R4年度決算認定後残高	2,614,479,040円

補てん額と積立額の差引額
△23,710,029円